

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

維持管理業務

運營業務

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立【石川】青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	用務員・清掃員にて館内・植栽の維持管理を行う。	請求書及び現地確認	適正	現地確認により適切に実施されていた
〈定期清掃〉	貯水槽掃除(6/29) チリ回収(週4回)	契約書、請求書、実績報告書及び現地確認	適正	契約書、請求書、実施報告書及び現地確認により適切に実施されていた

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	月次点検:2月毎1回 年次点検:年1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	契約書、実施報告書等により適切に処理されていた
消防設備保守点検	年2回(平成27年5月8日、平成27年10月13日)	契約書、実施報告書等により確認	適正	消防用設備等点検報告書により適切に処理されていた
簡易水道設備点検	実施なし	実施不要の内容を担当に確認済み	適正	改築施設に移る際、検査を受けることから実施していない(沖縄県環境科学センターに確認済)
ボイラー設備保守点検	年2回(平成27年5月8日、平成27年10月23日)	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により適切に処理されていた
昇降機設備保守点検	平成27年9月より稼働・点検実施	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により適切に処理されていた

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	休所日以外 17:00~8:30 常駐1名 保安警備実施 休所日終日常駐1名 保安警備実施	契約書、警備日誌等により確認	適正	今後も安全管理を徹底する

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	計11件(200,937円) 草刈機修繕、FAX修繕、ボイラー部品 取替修繕、パソコン修繕、輪転機修繕、 食堂棟空調機修繕等	実施報告書、修繕報告書、請求書等により確認	適正	今後も所管課と調整しながら、計画的な修繕に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
購入なし			適正	改築に伴い整備を進めたため、当該年度の備品購入無し。今後は所管課と調整しながら、計画的な備品購入をおこなう。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	18,000	17,173	95%	ほぼ計画どおりの実績となっている。
	利用者延べ数	29,000	27,014	93%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		311	314	101%	ほぼ計画どおりの実績となっている。
利用日数		298	302	101%	
利用率		96%	96%	100%	
利用延べ人数		28,200	27,014	96%	
	学校教育	17,000	16,713	98%	キャンプ場工事中の為 事業計画、実績ともに 0となっている。
	社会教育	1,200	515	43%	
	その他	10,000	9,786	98%	
施設別利用		18,300	16,361	89%	
	宿泊室	10,000	9,841	98%	
	研修室	3,800	3,269	86%	
	体育館 (プレイホール)	4,500	3,251	72%	
	キャンプ場	0	0	-	
	その他	0	0	-	

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検 証(計画達 成率 %)	業務改善に向 けた分析
スプリングキャンプ	4月25日	小学生以上の 家族	60	49	82%	ほぼ計画どお りの実績と なっている。
宿泊指導者研修会 前期	5月9日	本所利用予定 小学校団体 引率者	30	17	57%	学校職員への 周知の工夫が 必要である。
ホテルウォッチング	6月6日	小学生以上の 家族	90	60	67%	定員数の検討 が必要。
親子キャンプで野外料 理に挑戦しよう	7月12日	小学生以上の 家族	45	0	0%	台風で中止 検討必要
親子でカヌー・バナナ ボート体験	7月25日	小学生以上の 家族	40	0	0%	台風で中止 検討必要
宿泊指導者研修会 後期	8月1日	本所利用予定 小学校団体 引率者	30	22	73%	ほぼ計画どお りの実績と なっている。
子どもアドベンチャー	8月11日	小学4年生～ 6年生まで	40	35	88%	ほぼ計画どお りの実績と なっている。
オープンデー ナイト登山	10月31日	一般	50	32	64%	周知の方法を 検討する必要 がある。
オータムキャンプ	11月21日	小学生以上の 家族	40	42	105%	ほぼ計画どお りの実績と なっている。
どんぐり工作に挑戦し よう	12月6日	小学生以上の 家族	60	21	35%	周知の方法を 検討する必要 がある。

母子・父子家庭キャンプ	2月27日	小学生以上の 母子・父子家族	40	14	35%	周知の方法を 検討する必要がある。
石川岳自然観察会	3月6日	小学生以上の 家族・一般	40	12	30%	開催時期の検討が必要である。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証(計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
農業体験学習 草花を植えよう 花を咲かそう (ヒマワリ・コスモス)	4月18日	親子	60	75	125%	計画を上回る 実績である。
津堅島探訪・ニンジン 収穫体験	5月16日	親子・一般	30	26	87%	ほぼ計画どおりの 実績となっている。
手作り工作を楽しもう 竹笛・巣箱	8月23日	親子	30	14	47%	開催日を検討 する必要がある。
石川岳野草料理	10月18日	小学生以上の 家族	40	21	53%	周知の方法を 検討する必要がある。
農業体験学習 ジャガイモの植ええ	11月7日	親子	50	51	102%	ほぼ計画どおりの 実績となっている。
農業体験学習 ジャガイモの収穫体験	収穫体験 1/31、2/7、 2/8	親子	50	45	90%	ほぼ計画どおりの 実績となっている。
石川岳自然体験	12月13日	一般	30	29	97%	ほぼ計画どおりの 実績となっている。
歌碑めぐり	9月20日	一般	30	24	80%	ほぼ計画どおりの 実績となっている。

親子でカーサムーチャー 作りを楽しもう	1月10日	小学生以上の 親子	40	38	95%	ほぼ計画どおりの実績となっている。
琉球歴史探訪	1/21、2/4、2/18 1/27、2/10、 2/24	一般	25	30	120%	計画を上回る実績である。
シニアふれあいグラウンドゴルフ大会	1月31日	一般	60	0	0%	大雨で中止 検討必要
島くとうば学習	3月12日	一般	20	26	130%	計画を上回る実績である。
スポーツ健康づくり バドミントン教室	1月17日	一般	20	25	125%	計画を上回る実績である。
石川岳写真会	3月20日	小学生以上 一般	30	20	67%	開催時期を検討する必要がある。
バレーボール大会 (小学生)	3月12日、13日	小学生	100	214	214%	計画を上回る実績である。
農業体験学習 適応指導教室	随時	参加希望の 中学生	30	0	0%	参加希望者無見直しが必要

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析	
維持管理業務	施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）	<p>〈アンケート回答 計93件〉 （結果構成比）</p> <p>(1) とても良い 51% (2) 良い 32% (3) 普通 7% (4) 悪い 1% (5) 無回答 9%</p>	<p>専門職員にて、区分された担当区域の安全点検を実施している。</p> <p>今後とも施設管理の対応について早期発見、各種点検業務や施設巡回を行うこと。</p>	<p>今後も施設の安全使用に心がけ常に点検を重ね利用者の安全の確保をお願いしたい。</p>
	職員の対応について（マナー、施設の利用方法の説明等）について	<p>〈アンケート回答 計93件〉 （結果構成比）</p> <p>(1) とても良い 82% (2) 良い 13% (3) 普通 1% (4) 悪い 0% (5) 無回答 4%</p> <p>《改善要望》</p>		
運営業務	施設設備について（宿泊室、体育館・プレイホール、研修室等）	<p>〈アンケート回答 計93件〉 （結果構成比）</p> <p>(1) とても良い 53% (2) 良い 22% (3) 普通 12% (4) 悪い 5% (5) 無回答 8%</p>	<p>安全性に配慮し、施設整備に努めている。</p> <p>今後とも、各種点検業務を行い、安全管理に努めること。</p>	<p>これからも安全性を考えた施設設備に努め、利用者から気づく配慮するところは改善に努めて欲しい。</p>
	施設設備について（宿泊室、体育館・プレイホール、研修室等）	<p>《改善要望》</p> <p>・宿泊室の入口にカーテンがついていればよい。シャワー室にカーテンがあればよい。等</p>		

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析	
運 営 業 務	主権事業、 自主事業に ついて	<p>〈アンケート回答 計 251 件〉 （結果構成比） （1）とても良い 88% （2）良い 9% （3）普通 0% （4）悪い 0% （5）無回答 3%</p> <p>《改善要望》 主権・自主事業について、設定 時間をオーバーして終了する事業 がいくつかあった。</p>	<p>事業についての利用者の評 価は良好である。リピー ター、リピーターからのロ コミで参加者も増加してい る。今後も利用者のニーズ に応えられるように考慮し ながら運営を行うこと。 しかし、主権・自主事業で 時間管理の課題が残る。時 間配分など安全面に考慮し ながら次年度へ活かした い。</p>	<p>アンケート結果より概ね適切な運 営がなされている。各事業での時 間配分も安全対策という面から大 事になるので計画な企画に努める こと。</p>
総合評価		<p>〈アンケート回答 計 344 件〉 （結果構成比） （1）とても良い 69% （2）良い 19% （3）普通 5% （4）悪い 2% （5）無回答 5%</p>	<p>一部施設設備の清潔性に課 題があったが、新施設での 活動が始まり、解決した。 職員の対応・マナー等につ いては、概ね良好であり今 後も継続していきたい。 全体的に適切な対応が出来 ている。今後も各種目標を 達成するためにサービス向 上に努めること。</p>	<p>全体的に適正に運営されている。 今後も利用者目線での運営改善 のために全力で取り組んで欲し い。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

Ⅲ. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	1,212	1,240	102%	
	宿泊室	1,116	1,126	101%	
	キャンプ場	0	0	-	改築に伴うキャンプ場整備により平成27年度当初より使用不可のため事業計画、実績ともに0
	研修室及び訓練室	61	78	128%	
	プレイホール	35	36	103%	
指定管理料	37,887	37,887	100%		
主催事業収入	600	626	104%		
自主事業収入	300	417	139%		
事業収入その他	903	1,724	191%		
その他収入（自販機電気料等）	100	199	199%		
合計（A）	41,002	42,093	103%		
〈業務改善に向けた分析〉					
概ね計画以上の収入となっている。新施設として各方面からの利用需要も高いと考えられるので、計画的に事業を推進し、更なる新規利用者増、リピーター増を図れるよう努めさせる。					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		21,042	18,477	88%	所長の法定福利費の減用務員委託による減
報償費		100	223	223%	
旅費		500	433	87%	
需用費		7,432	7,045	95%	
	消耗品費	850	2,215	261%	
	燃料費	400	366	92%	
	印刷製本費	100	0	0%	
	光熱水費	4,604	4,261	93%	
	修繕料	1,478	203	14%	
役務費		800	481	60%	
	通信運搬費	300	284	95%	
	手数料	100	50	50%	
	損害賠償保険料	100	134	134%	
	火災保険料	250	0	0%	
	自動車保険料	50	13	26%	
委託料		7,809	10,199	131%	
使用料及び備品購入費		2,700	1,648	61%	
		1	0	0%	
負担金		18	50	278%	
公課費		600	3,062	510%	
合計		41,002	41,618	102%	
〈業務改善に向けた分析〉					
支出合計の対計画比は102%で、改築による修繕費減分を消耗備品購入等にあてている。今後は新施設にあった事業計画の作成とその履行を推進していくこと。					

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))(単位:千円)	0	475	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	3%	3%	101%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	51%	44%	87%	
人件費比率 (人件費/収入(A))	51%	44%	86%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	19%	25%	129%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/収入(A))	19%	24%	127%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)/利用者数)(単位:円)	1,454	1,535	106%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料/利用者数)(単位:円)	1,344	1,397	104%	
(業務改善に向けた分析)				
事業収支の実績は、475千円であり、過去数年と比較しても概ね適正であると思われる。新施設に伴い収入増が図られるよう指定管理者と連携を行っていきたい。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支入の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。